

## 令和元年 第2回区づくり推進横浜市会議員会議（緑区）議事録

開催日時	令和元年6月3日 午後3時00分 ～ 午後4時10分
場 所	緑区役所 会議室3A
出席者	<p>【座 長】鴨志田 啓介 議員</p> <p>【議員：3人】今野 典人 議員、高橋 正治 議員、斉藤 達也 議員</p> <p>【緑区：27人】小野崎 信之 区長</p> <p>三瓶 一道 副区長</p> <p>室谷 洋一 福祉保健センター長</p> <p>市川 一弘 福祉保健センター担当部長</p> <p>関戸 義仁 土木事務所長 ほか区関係職員</p>
議 題	<p>1 令和元年度 緑区運営方針</p> <p>2 緑区に係る予算のすがた（令和元年度一般会計予算）</p> <p>3 令和元年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</p>
発言の旨	<p><b>1 令和元年度 緑区運営方針</b></p> <p>（区長説明）</p> <p>高橋議員：「チーム力の発揮」について、緑区役所では意思疎通、連携をどのようにしているか。また、働き方改革の工夫は。</p> <p>小野崎区長：区役所全体の会議としては課長以上が参加する定例的な会議で課題確認等を実施し、それを各職場で共有しています。そのほか、サイボウズというツールやメールを活用し、情報共有しています。</p> <p>また、法律や条例で定めがある業務もありますが、可能な限り仕事のやり方を見直したり、事業の統廃合、委託化など様々な工夫をしています。</p> <p>斉藤議員：「安全安心なまち」について、区民は区役所に強いリーダーシップを求めている。メッセージの発信をしっかりとやってほしい。中山二丁目地区の速度抑制対策は、実験結果を踏まえて安全安心な街を実現してほしい。</p> <p>小野崎区長：安全・安心は、区民の皆さまが望んでいる最優先事項だと思います。地域の皆さま、関係団体、関係機関と連携し、不安を軽減していきたいと思っています。</p> <p>斉藤議員：横浜市全体でも緑区でも外国人が増えている。最低でも各区に1か所、国際交流ラウンジを作って、外国人が気軽に寄れる場所が必要だと思うが、区役所としてどう考えているか。</p> <p>小野崎区長：外国人の方は増えているし、これからも増えると予想されますので、大変重要なテーマだと思います。外国人の方に対する対</p>

応は、これからいろいろと検討していきたいと思います。

## **2 緑区に係る予算のすがた（令和元年度一般会計予算）**

（区長説明）

斉藤議員：「区提案反映制度」について、緑区は3項目しかない。確実に予算が取れるものだけでなく、もっと議員と議論し、チャレンジしてほしい。

大塚区政推進課長：「区提案反映制度」は、横浜市の予算編成の過程で、区と局との間でいろいろ議論するためのツールです。先生方からいただいたご意見や広聴などを総合し、局と議論しながら最終的に予算という形にしていく仕組みになっています。

緑区としては3項目しかないように見えますが、複数区あるいは18区共通で一緒に提案するもので、ここには反映されてこないものもあります。実はこのほかに20項目程度あり、予算規模の大きいものや小さいもの、予算化が確実なものや困難なものなど、いろいろあります。局に現場の声を届けることができるのが区だと思っておりますので、引き続きチャレンジしていきたいと思います。

## **3 令和元年度 個性ある区づくり推進費 執行状況**

（区長説明、副区長説明）

### **【1 災害に強いまちづくり事業】**

斉藤議員：18区に防災無線が設置されるという動きがあるが、区として位置づけやあり方についてうかがいたい。

山田総務課長：今年度は長津田消防出張所と鴨居中に設置する予定です。令和2～3年度には区役所、十日市場消防出張所ほか7か所に設置する予定です。考え方等につきましては、危機管理室と調整しながらやっていきたいと思っています。

### **【3 交通安全対策事業】**

高橋議員：県条例で自転車に関しては保険加入が義務化された。小・中学校で安全教室を開催したり、乳幼児健診に合わせて啓発をしたり、取り組みはしっかりしているが、身近な乗り物である自転車の安全対策に、もっと力を入れてもよいと思うがどうか。

岩岡地域振興課長：自転車の事故というのは大変重たくて、県の条例ができたことを受け、保険加入の必要性を強く訴えていきたいと思っ

ています。

また、高校生向けに行っている登下校時の自転車マナーの啓発の機会や放置自転車の対策の駐輪場等の新規利用者の申し込みの機会を利用し、保険加入チラシ等を作って啓発に努めます。

斉藤議員：スクールゾーン対策について、他都市で起きた事件事故により問い合わせが増えているのか。

関戸土木事務所長：特に反応があるわけではないのですが、土木事務所としては同じ様な事故を起こしてはならないと考え、スクールゾーン協議会等が出てきた意見に対してはしっかり対応していきたいと考えています。

道路局が点検する市内 256 か所の交差点のうち、緑区は6か所あるので、警察と連携して取り組みを進めるだけでなく、それ以外の所につきましても、必要に応じて積極的に取り組んでいきます。

今野議員：先日、地域住民の要望で、土木事務所に歩道に飛び出している生け垣を切ってもらった。歩道に飛び出した生け垣はいろいろな所にある。子供達は道路のはしを歩くことができず、車の近くを通ることになってしまうので、きちんと管理するための啓発はした方が良いのではないか。

川崎緑土木事務所副所長：児童の通学に対して生け垣が歩道にせり出してきて、通りづらいといった陳情は、年間を通じてかなりいただいているので、その度に個別に対応させていただいています。

### 【7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業】

今野議員：いろいろな事件が起こる中で、事件の関係者が引きこもりだったときに「もう少し役所等に相談した方が良かったのではないか」と言われることが多いが、実際はどこまで本人が答えてくれるかわからず、難しい。緑区ではひきこもりが何件位か把握しているか。また、どんな相談ならできるか。

米岡高齢・障害支援課長：平成 30 年度の引きこもりの相談件数は、生活支援課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課の 3 課にまたがる中で、39 歳以下あるいは 40 歳以上を合わせて、50 件弱となっています。

それぞれ個性が強い案件になります。ただお話を聞く場合もありますし、医療機関に受診を勧奨する事もあります。警察やこころの相談センターと相談をしたりしながら個別に対応しています。すぐ

	<p>にどこかに連れて行って欲しいと言われることもありますが、それは一朝一夕にできるものではなく、その方が過ごしてきた長い年月と同じ様に時間をかけながら、個別に対応しています。</p> <p><b>【8 あんしん子育てネットワーク事業】</b></p> <p>今野議員：今年4月1日、緑区は待機児童ゼロという事だが、第一希望の園に入れなかった人に、別の園を紹介し、了承してもらった事は大変ありがたいのだが、不満等を言われることはあるか。</p> <p>内山学校連携・こども担当課長：区役所では保育のコンシェルジェが2人おり、保留児になると個別に相談対応をしています。ご不満がある場合にも個別に対応し、大体納得していただいています。</p> <p><b>【26 子ども達の夢の緑区推進事業】</b></p> <p>斉藤議員：区制40周年の10年前に当時の小中学生が描いた「夢みどり50プラン」の集大成となるわけだが、なにをするのか。</p> <p>岩岡地域振興課長：子どもたちの夢を具現化しようと、30年度は「緑区スポット」を選び、マップを作りました。今年度は、記念の看板を設置し、子どもたちが選んだ「緑区スポット」を区民の皆さんに広く周知していく活動をしていきます。</p> <p>斉藤議員：当時プランに携わった小学生・中学生が大人になり、子供のときに出した意見が、今、取り上げられたり、紹介されたりするのを目にすることで、「子供も意見を言っているのだ」という空気を作るのが良い。今年は集大成なので、良い思い出を作り、その思い出が区民一人ひとりに非常に効果的になるよう期待している。</p>
<p>備考</p>	<p>(資料)</p> <p>令和元年 第2回区づくり推進横浜市議員会議(緑区)次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度 緑区運営方針</li> <li>2 緑区に係る予算のすがた(令和元年度一般会計予算)</li> <li>3 令和元年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</li> </ol>